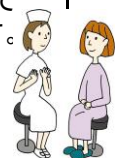


患者氏名：

様

受持医：

受持看護師：

月日(日時)	/	/	/	/	/	/ ~ /	/	
経過(病日等)	入院日	手術前	手術後	手術後1日目	手術後2～3日目	手術後4～5日目	手術後6～8日目	手術後9日目(退院)
達成目標	◆手術の準備が整っている ◆手術の必要性を患者・家族が理解し同意できる ◆手術前の検査が終了している	◆手術についての不安が最小限で落ち着いている	◆疼痛がコントロールできる ◆術後の出血がない ◆安静が保てる	◆排ガスがある ◆腹部膨満がない ◆悪心がない ◆疼痛がコントロールできる ◆食事が開始できる		◆術後感染がない ◆排便コントロールができる ◆疼痛コントロールができる	◆術後感染がない ◆疼痛コントロールができる ◆創治癒が良好で抜鉤ができる ◆創部の感染兆候がない ◆尿道留置カテーテルを抜去できる	【退院基準】 ◆創部の感染徴候がない ◆栄養療法に対する指導内容が理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服)	呼吸機能訓練機器を用いて呼吸の訓練をします 手術の開始時間 ()時	手術が午後の場合 点滴を行います ()時頃から 手術の準備をします		点滴は手術後3日目まで行います 			7日目に創部を抜鉤します	
処置	腹・陰部の除毛を行います へその処置を行います 浣腸を夕食後に行います 手術部位に主治医がマーキングをしますをします		尿の管が入っています。尿の状態を観察します 創部にドレーンという管が入っています。2日目にはドレーンを抜去します 硬膜外麻酔を持続的に投与するカテーテルが入っています 液がなくなったら抜去します				6日目に膀胱造影検査後 尿の管を抜去します 抜去後の排尿状況や尿性状の観察を看護師が行います	
検査				1日目・3日目に血液検査とエックス線撮影を行います				
活動 安静度	制限はありません		手術後から1日ベッド上安静となります	点滴スタンドを押して歩くことができます		活動に制限はありません		
食事	夕食後24時より絶食となります	絶飲食です 		エックス線撮影後、腸の動きや排ガスを確認し 飲食が再開となります 				
清潔	除毛後にシャワー浴をしてください			看護師が体を拭きます 	創部・ドレーン抜去部を保護してシャワー浴ができます 			
排泄	浣腸後に排便の確認を行います		尿の管が入っています	トイレで排便ができます			尿の管を抜去したらトイレで排尿ができます。抜去後24時間は排尿日誌の記載をします。	
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ指導 栄養指導 服薬指導	受持医が入院治療計画・手術について説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 麻酔科医が診察いたします 手術室看護師が訪問いたします 薬剤師が薬について説明いたします 腹帯2枚を準備して下さい 入院費に関するご心配事がありましたら、お早めに総合受付⑥番窓口にご相談ください		手術後、主治医がご家族に手術の説明をいたします 			5日目に食事療法について退院後の生活について管理栄養士・看護師から説明があります 	7日目に受持看護師から食事療法と退院後の生活について再度確認があります 排尿日誌の記載方法について看護師から説明がいたします。 	退院前、受持医から手術の結果と今後の治療の説明があります 

注 1 入院期間については現時点で予測される期間です。

国立病院機構熊本医療センター 泌尿器科 2021年12月作成